

西武HDが業績予想を修正ーアセットライト戦略の進展を評価、引き続き鉄道やホテルの需要動向を注視

以下は、株式会社西武ホールディングス（証券コード：9024）が23/3期第2四半期累計および通期業績予想を修正したことについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 当社は9月29日に23/3期第2四半期累計および通期業績予想の修正を発表した。修正後の第2四半期累計営業収益は2,100億円（修正前2,140億円）、営業利益は110億円（同150億円）、最終利益は640億円（同50億円）、通期営業収益は4,160億円（修正前4,430億円）、営業利益は130億円（同310億円）、最終利益は750億円（同820億円）である。営業収益および営業利益の修正には鉄道やホテルの需要回復の鈍化などが織り込まれている。最終利益の期初予想にはホテル・レジャー資産の譲渡によって見込まれる売却益が織り込まれていたが、今般、更に確度の高い値が反映されたと考えている。一方、譲渡が予定されている残りのホテル・レジャー資産の一部などを対象に、回収可能性を考慮して減損損失を計上するものとした。
- (2) JCRは1月27日に当社の長期発行体格付を「A-」、格付の見通し「ネガティブ」と公表した。格付にはホテル・レジャー資産の譲渡による財務改善効果を一定程度織り込みつつ、売却の進捗状況および鉄道やホテルの回復状況を確認していくものとしている。財務基盤の回復に向けてホテル・レジャー資産の売却は重要な施策であり、今回、4物件の譲渡が決定したことで財務改善の確度は高まったとJCRでは判断している。一方、依然として鉄道輸送やホテルの稼働はコロナ禍の影響を受けている。これらの需要動向とともに損益分岐点の引き下げに向けた取り組みも引き続き注視していく。

（担当）加藤 直樹・外窪 祐作

【参考】

発行体：株式会社西武ホールディングス

長期発行体格付：A- 見通し：ネガティブ

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル